

令和6年度 課題探究GS 最終発表会 発表概要

発表順	コース	発表タイトル	概 要	関連するSDGs
1	探究	能勢芸術文化祭	研究のきっかけは芸術文化祭に行った際、来場者が少なく、出展数も年々少なくなってきたと感じた。そこで、自分たちに何ができるか考え、役場の方からお話を聞き、3つの提案をしました。出展されているのを見るだけでなく、来場者の方と一緒に体験できる企画をしようと思った。→軽音演奏、モザイクアート、ウィッシュツリー。また、本番に向けて何度も会議を重ね、役場の方と相談しながらチラシやパンフレットを作成しました。町民の方々が盛り上がる文化祭になるよう探究活動を進めてきました。	
2		能勢町の森林とゼロカーボン ～次世代へと森林を活かし続けるために～	地球温暖化の原因にはCO2排出量の増加が深く関係しています。CO2を減らすには適切な森林の手入れを行い、木のCO2吸収量をUPさせる必要があります。しかし、能勢町の森林のほとんどは林業家の減少などにより、手つかずの状態となっています。そのため、私たちはこの現状を地域の子供たちに知ってもらう活動を通し、次世代の林業の担い手を増やすために何ができるのかを課題探究として取り組んできました。	 
3	食農流通	レンゲが能勢を救う！？ レンゲの花で三方よし	能勢分校がある能勢町は、少子化・街離れが進んでいる。研究のきっかけは養蜂を学ぶ中でミツバチにとっても能勢町にとっても良い関係ができないか考えたから。様々な良さが集まった循環・継続可能な農業を能勢町で行いたい、また地域の学校とも協力し能勢町はミツバチに優しく自然豊かな場所であることをもっと知ってほしい。そして能勢町に人が集まれる場所を作りたいと思い活動を行いました。	  
4		ドローンによる 地域農業への貢献	ドローンで附属農場や地域の生産者、酒造会社の水田を撮影し、撮影データを生産者の方と共有し、生育診断に役立つデータを積み重ねています。今年の8月には、酒造会社の水田で見学会を開催し、その場でドローンを飛行させて撮影した画像と実際の様子を見比べながら生育状態について説明したり意見交換しました。能勢の特産品であるコメやクリの品質向上や省力化に役立つデータを得たいと考えています。	 
5	里山起業	カメムシの情報はどこまで 本当？ ～誤解を解く大作戦～	きっかけは、一年生だった頃の冬にカメムシが大量発生したことにより能勢の旅館や農家さんが困っているということを知り、どうにかできないかと考えました。これまで私たちは「昆虫食」→「忌避剤」→「正しい情報を広める」とテーマが変わってきたが、本質はいずれもカメムシが原因で困っている人たちを助けることでした。今回はカメムシ学者から得た有益なカメムシの情報を広めることを最重視して探究活動を行いました。	 
6		古民家再生プロジェクト ～能勢の魅力発信～	きっかけは、能勢町の人口減少に伴い空き家が増えているのではないかと感じたことです。その結果、能勢にある古民家を再生することが一つの解決策であると考えました。古民家の再生は、地域の魅力を高め、移住者を呼び込むきっかけになると考えたからです。さらに、この活動をより多くの人に知ってもらうためには、再生作業の過程の一部でも動画で記録し、その魅力を発信することが効果的だと考えました。動画を通じて、能勢町の歴史的価値のある建物と、地域再生への取り組みを広く伝えることで、能勢町の人口増加や地域活性化に繋がると考えています。	
7	対人支援	手話を広めよう	テーマは手話を広めようです。私たちは要約筆記という授業で中途失聴者の方にお話を聞きました。そこで、多くの人に手話が広まればいいなと思いました。のせ保育所の年長さんに手話教室を開いたり、能勢町の公共機関に手話ポスターを掲示したり、能勢分校生には手話に関わるプリントを作成・掲示しました。私たちの活動を通して手話に触れてもらいたいです。	 
8		能勢分校生の体力向上	私達は能勢町の子供達の体力向上をテーマにしていたのですが、学校での体力テストを行った際自分たちの体力が前回よりも落ちていることに気づき、まず能勢分校生の体力向上を目指すことが大切だと感じました。そこで「球技大会の実施」「筋トレ・ストレッチのプリントを全校生徒に配布」「授業でのオリジナルウォーミングアップ導入」を行い、体力がどれだけ向上したかを調べました。	 